

令和2年度理学部入学生各位：

理学部学務委員長  
松岡 篤

## 「令和2年度履修の手引」の改訂について

標記のことについて、以下（赤字修正箇所）のとおり改訂しますので、お知らせします。

## XII 成績と GPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した全授業科目について、1単位当たりの成績の平均値（GPA）を算出します。

GPAは学期毎に算出し、入学後に履修登録した全ての授業科目について、累積GPAを算出します。

累積GPAと全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表しているとみることができます。

GPAは大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするために、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

主専攻プログラム配属を決定する際、一つの主専攻プログラムに対して配属希望学生が受入れ人数上限を超えた場合、累積GPAが上位の学生からその主専攻プログラムに配属されます。

## 【注意】

取消手続きを行わずに放棄した授業科目、試験等を受けずに成績評価を受けられなかった授業科目があると、その成績表示は「――」となり、累積GPAが下がることになります。

## ○成績評価基準

点数	評語	基準
100点～90点	秀	授業科目の目標を超えている。
89点～80点	優	授業科目の目標に十分達している。
79点～70点	良	授業科目の目標に照らして一定の水準に達している。
69点～60点	可	授業科目の目標の最低限を満たしている。
59点～0点	不可	授業科目の目標の最低限を満たしていない。

## ○GPA計算

100点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント（GP）は、次の計算式で算出されます。

$$GP = \frac{\text{評価} - 50}{10}$$

<例>85点の場合、GP=(85-50)/10=3.5 となります。

ただし、59点以下の場合には0となります。

GPAは、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積GPAは、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

### XIII 成績評価に対する疑義照会及び不服申立てについて

理学部開設授業科目の成績評価に対して疑義がある場合は、成績確認期間内に、授業担当教員（非常勤講師の場合は理学部学務係）に申し出てください。なお、疑義照会の回答に対し不服がある場合、理学部学務係に申し出てください。

### XIIIIV 再履修について

単位修得済みの科目について、同一科目を再度履修することができます。  
ただし、卒業要件単位には1科目分の単位しか認められません。  
※再履修できない科目（実験・実習科目他）もありますので、履修申請の際には注意してください。

### XIVV 席次

2年次第1学期までは理学科全体で、主専攻プログラム配属後は所属する主専攻プログラムで、学年毎に席次は修得単位数及び累積GPA等により総合的に決定します。

### XVVI 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。  
送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、クラス相談員または主専攻相談員に申し出てください。

### XVIVII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。  
届出用紙は、理学部学務係にあります。

### XVIXVIII 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等を行うことがあります。  
入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所及び電話番号を必ず登録してください。連絡先に変更があった場合は、理学部学務係に届けるとともに登録内容の更新を行ってください。  
※届出がない場合には、不利益を被ることがあります。

### XVIXIX その他

#### 1 転プログラム

転プログラムを希望する場合は、主専攻相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。申請用紙は、理学部学務係にあります。転プログラム志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。ただし、申請は2年次から3年次に進級するときに限り、当該時点での累積GPAが2.5以上である者のみを有資格者とします。また、申請を行う前に希望する主専攻プログラムの主専攻相談員又は学務委員に申し出てください。

なお、主専攻プログラム内での専門力プログラムから総合力プログラム、または総合力プログラムから専門力プログラムへの変更を希望する場合は、以下によります。

##### (1) 申出期間

- 申出期間は年2回とする。
- 2月1日から第2学期の成績登録期限の翌日まで
- 8月1日から第1学期の成績登録期限の翌日まで

##### (2) 申出の方法

主専攻相談員または所属プログラム学務委員の許可を得た後、学務係備え付けの申請用紙で申し出る。

## 2 転部

理学部以外の学部へ転部を希望する場合は、予めクラス相談員、主専攻相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。

転部受付の有無・方法・時期等については、各学部により異なりますので、転部を希望する学部の学務係にお問い合わせください。

## 3 休学・退学

保護者と相談の上、クラス相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

## 4 欠席

いわゆる公欠制度はありません。

## 5 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届（病気の場合は医師の診断書を添付）を提出してください。届出用紙は、理学部学務係にあります。

## 6 海外旅行届

海外旅行を行う場合は、学務係に「海外渡航計画書」（理学部学務係にあります）を提出してください。

## 7 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板および所属プログラム掲示板を見てください。掲示板を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。また、学務情報システムの「連絡通知」も1日1回は確認してください。携帯電話からメールシステムが利用できますので活用してください。